

研究タイトル	アメリカザリガニのメスからオスへの交尾行動の解析		
研究カテゴリー	動物科学		
学校名	早稲田大学本庄高等学院		
都道府県	埼玉県		
研究者氏名	森 香南子		
研究者(代表者)学年	2年(高校・高専)		

### 研究の要約

動機や目的：一般的にオスから交尾を行うとされるアメリカザリガニにおいて、これまでの実験からメスとオスを別々に飼育した場合、メス・オス共に異性の水槽に対して接近行動を行うことが判明した。またメスからオスへの交尾行動も確認できた。そこでメスからオスへの交尾に至るまでの行動を解析し、オスとメスの交尾行動の違いを検証した。

研究方法：土を入れたプランターに水槽を2つ埋め、メス1個体、オス1個体を入れてビデオカメラで録画した。観察された交尾までの行動を18個のカテゴリーに分類し、エソグラムを作成、秒単位で行動解析を行った。さらに、能動的行動と受動的行動に分けて、交尾までの時間に占めるそれぞれの時間の割合(%)を計算した。

結果：メスから交尾を行った場合、メスの能動的行動率はオスより62.64%高く、オスから交尾を行った場合、オスの能動的行動率はメスより55.15%高かった。また、オスからの交尾であってもメスの能動的行動率がオスより22.27%高い場合も確認できた。メスからの交尾行動でメスにだけに確認された行動は、交尾直前にメス自ら鉗をまっすぐ上に伸ばして静止する行動であった。

結論：一般的にオスから交尾を行うとされているアメリカザリガニにおいて、メスからオスへの積極的な交尾行動が明らかとなった。

今後の展望：今後は解析数を増やし、メスの生態を明らかにすることで繁殖力抑制の手段を見つけ、河川の生態系保全に繋げてゆきたい。

### ●確認事項

研究に用いているもの (人間、脊椎動物、微生物、組み換えDNA、細胞組織、どれも用いていない)	どれも用いていない
大学・研究機関などでの実験や装置使用があるか	いいえ
昨年までの研究からの継続研究か	はい(継続研究である)